

埼玉県民間事業者暑さ対策設備等省エネ補助金 事業計画書

1 事業実施者

事業実施者	氏名又は名称	株式会社〇〇〇〇〇				
	代表者役職名	代表取締役 〇〇 〇〇				
	本店所在地	〒012-3456 埼玉県〇〇市〇〇△-△-△				
	産業分類上の大分類	製造業	主な生産品目		〇〇〇〇	
	資本金 (出資金額)	〇〇〇〇 円	常時使用する従業員数	〇〇〇〇 人	みなし大企業に該当の有無	無
実施場所	事業所名称	□□工場				
	事業所所在地	〒987-6543 埼玉県〇〇町〇〇□-□-□				
	直近3か年の原油換算エネルギー使用量 (単位:キロリットル)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均	
		61	85	109	85	
連絡先・書類送付先	所属名	〇〇部〇〇課		電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
	職名	課長代理		FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
	氏名	〇〇 〇〇		メール	XXXXXXXX@XXX.co.jp	
	書類送付住所	〒987-6543 埼玉県〇〇町〇〇□-□-□				

※施工設備等をESCOで調達する場合のみ記載してください。

ESCO事業者	名称					
	代表者役職名	ESCO事業者との連名申請の場合のみ				
	主たる事務所の所在地					
	業種／主な業務内容					
連絡先	所属名			電話		
	職名			FAX		
	氏名			メール		
	連絡先住所 (郵送先)	〒				

※施工設備等をリースで調達する場合のみ記載してください。

リース事業者	名称					
	代表者役職名	リース事業者との連名申請の場合のみ				
	主たる事務所の所在地					
連絡先	所属名			電話		
	職名			FAX		
	氏名			メール		
	連絡先住所 (郵送先)	〒				

2 補助対象事業のうち設備改修に関する契約形態(ESCO形態の場合のみ)

契約形態 ※いずれかに ○	ギランティード・セイビングス契約	シェアード・セイビングス契約
パフォーマンス契約期間	年間	令和 年 月 ~ 令和 年 月

3 事業内容

事業期間	令和 2 年 9 月 ~ 令和 2 年 11 月				
事業名	屋根に対する断熱対策				
事業概要	(設備導入の概要などをご記入ください。) 工場の屋根(2,000平方メートルのうち1,000平方メートル部分)に対する断熱塗装の実施することで、建物内の空調負荷を軽減し、もって省エネ・省CO2をはかる。				
	設備導入前の状況		設備導入後の状況		
	・(屋根部分) 竣工時から改修等の実績なし		・(屋根部分) 屋根(6,000㎡のうち3,000㎡に対する断熱塗装) メーカー:(株)〇〇 製品名:〇〇〇〇 特徴: 実施方法:		
	適合基準の確認				
	該当	規格	規格名、実証番号	区分	数値
	○	日本産業規格(JIS)	K5675	日射熱吸収率	0.25
		環境省の環境技術実証事業(ETV)		選択してください	
		国立研究開発法人建築研究所		選択してください	
		一般社団法人建材試験センター		選択してください	
	法定耐用年数またはメーカー保証期間 (複数用途がある場合、施工別に記入する)			屋根	10
			外壁		
			窓		
導入前		導入後		CO ₂ 排出削減予測量	
24.6 t-CO ₂ /年		18.6 t-CO ₂ /年		6.0 t-CO ₂ /年	

法定耐用年数CO ₂ 排出削減量	60.0 t-CO ₂
-----------------------------	------------------------

4 資金計画

(1) 他の補助制度(国の補助金など)との併用有無 ※いずれかに○をする

○	ア 併用なし		イ 併用あり
---	--------	--	--------

(2) 事業費内訳

(単位:円)

区 分	設備費・材料費			工事費	合計	
	単価	数量	計			
補助対象経費	屋根の塗料(㎡あたり×1,000㎡分)	5,000	1,000	5,000,000	2,000,000	7,000,000
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	計(A)			5,000,000	2,000,000	7,000,000
補助対象外経費	既存設備撤去費		300,000	50,000	350,000	
	既存設備にかかる処分費				0	
	諸経費(共通仮設費、一般管理費等)			120,000	120,000	
	その他(屋根の水漏れ対策・補修費)			2,800,000	300,000	3,100,000
						0
計			3,100,000	470,000	3,570,000	
小計	※ 見積書の合計額(税抜額)と一致させること				10,570,000	
消費税及び地方消費税額					1,057,000	
総事業費	※ 見積書の合計額(税込額)と一致すること				11,627,000	

(3) 国等の補助の補助申請(予定)額又は交付決定額

(単位:円)

区 分	名 称	機器費	工事費	合計
補助対象経費(B)		5,000,000	2,000,000	7,000,000
国等の補助額(C)	SII補助金①			0
	SII補助金②			0
B-C		5,000,000	2,000,000	7,000,000

(4) 補助金申請額

ア 併用なしの場合

① 上限額

3,000,000

② 補助対象経費の1/3

7,000,000 × 1/3 = 2,330,000
(A)

③ 申請上限額

2,330,000
①、②の低い額

イ 併用ありの場合

① 上限額

3,000,000

② 補助対象経費から国の補助金等を控除した額の1/4

7,000,000 × 1/4 = 1,750,000
(B) - (C)

③ 国の補助金等の合計額が1

3,500,000 - 0 = 3,500,000
(A) × 1/2 (C)

④ 申請上限額

1,750,000
①~③の低い額

暑さ対策入力シート及び計算結果シート

セル内に必要事項を記入します。セル枠線外には記入できません。注意事項に留意して作成してください。
計算結果は「計算結果シート」に表れます。

I. 事業所概要

		作成日	令和2年〇月〇日
1 対策事業所名	□□工場		
設置工事場所	埼玉県	上尾市	対象の用途 ○○製品の製造

2 当該建物の年間消費電力

1年間の電気メーターの積算値(電力会社の伝票の1年分のkWhの値)

表-1 対象建築物の年間消費電力入力表(参考)

年間消費電力 kWh/年

3 既存空調設備の冷熱源のCOP(成績係数)

熱量効果計算における、既存冷熱源のCOP値は以下の一定値を使用する。

本ファイルの効果計算ではCOP値の変更はできない。

冷房用COP 3.55
暖房用COP 3.95

4 当該施設の操業・営業時間

月の平均営業・操業日数 日/月

一日の平均営業・操業時間 h/日

月当たりの平均操業・営業時間 h/月

建物の屋根面積 2,000㎡

屋根の遮熱塗装の
施工面積 1,000㎡

計算は、**施工面積**
1,000㎡を入力

II. 施工内容

1 対策部位 (対策する工事をクリックし選択する。)

屋根 外壁断熱 外壁遮熱 窓断熱 窓遮熱

2 暑さ対策を行う屋根・外壁・窓ガラスの面積

暑さ対策を実施する屋根、外壁、窓の施工面積を記入する。施工しない場合は「0」を入力する。

方位については、図1、図2を参考にすること。

表-2 各方位の対象面積

対策部位	方位	施工面積(m ²)
屋根	—	<input type="text" value="1000"/>
	北	<input type="text" value="0"/>
	北東	<input type="text" value="0"/>
	北西	<input type="text" value="0"/>
外壁	東	<input type="text" value="0"/>
	南東	<input type="text" value="0"/>
	南	<input type="text" value="0"/>
	南西	<input type="text" value="0"/>
	西	<input type="text" value="0"/>
	北西	<input type="text" value="0"/>
	北	<input type="text" value="0"/>
	北東	<input type="text" value="0"/>
窓ガラス	東	<input type="text" value="0"/>
	南東	<input type="text" value="0"/>
	南	<input type="text" value="0"/>
	南西	<input type="text" value="0"/>
	西	<input type="text" value="0"/>
	北西	<input type="text" value="0"/>
	北	<input type="text" value="0"/>
	北東	<input type="text" value="0"/>

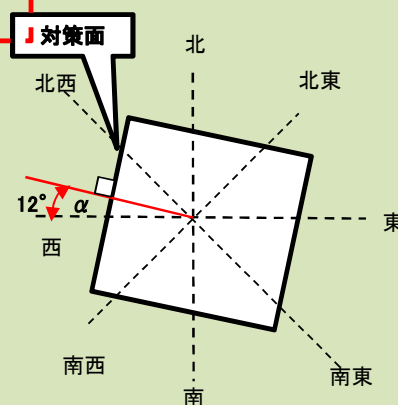


図1 方位の解釈の例1

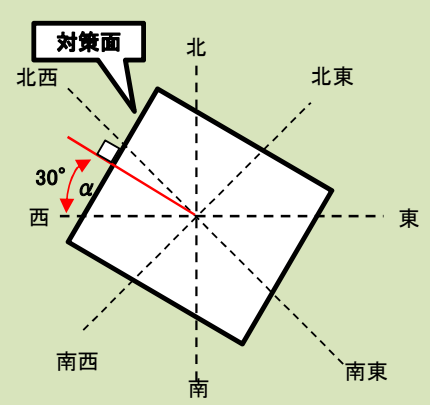


図2 方位の解釈の例

対策する面の法線(面に対して90度の線)と方角の角度αが22.5°より、小さい場合、この面の方角面(この場合は西向き)となる。
図2の場合は北西面となる。

Ⅲ. 対策後の熱性能(熱貫流率、日射熱吸収率、日射熱取得率)

1 屋根対策

①断熱

屋根について、対策を行わない場合は、数値を変更しない。対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-3 暑さ対策による屋根の熱貫流率入力表

屋根の熱貫流率 W/(m²K) ★デフォルト値: 3.91W/(m²K)

②遮熱塗装

屋根について、対策を行わない場合は、数値を変更しない。

表-4 暑さ対策による屋根の日射熱吸収率入力表

遮熱塗装の日射熱吸収率 ★デフォルト値: 0.7

2 外壁対策

①断熱

外壁について、対策を行わない方位の数値は変更しないこと。対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-5 暑さ対策による外壁の熱貫流率入力表

部位	方位	熱貫流率	
外壁	北	1.18	W/(m ² K) ★デフォルト値: 1.18W/(m ² K)
	北東	1.18	W/(m ² K)
	東	1.18	W/(m ² K)
	南東	1.18	W/(m ² K)
	南	1.18	W/(m ² K)
	南西	1.18	W/(m ² K)
	西	1.18	W/(m ² K)
	北西	1.18	W/(m ² K)

②遮熱塗装

外壁について、対策を行わない方位の数値は変更しないこと。対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-6 暑さ対策による外壁の日射熱吸収率入力表

部位	方位	日射熱吸収率	
外壁	北	0.7	★デフォルト値: 0.7
	北東	0.7	
	東	0.7	
	南東	0.7	
	南	0.7	
	南西	0.7	
	西	0.7	
	北西	0.7	

3 窓対策

窓対策による熱貫流率と日射熱取得率の値

表-7 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率の選定表

デフォルト値	5.95 W/(m ² K)	0.876
単層高性能熱線反射相当	5.61 W/(m ² K)	0.490
複層(空気層6mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	2.50 W/(m ² K)	0.415
複層(空気層12mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	1.69 W/(m ² K)	0.408
上記以外(JISで示された熱貫流率)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

窓ガラスについて、対策を行わない方位の数値はデフォルト値のままとすること。

対策を行う方位のみ、プルダウンリストから選択する。

表-8 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率の入力表

部位	方位	窓対策の内容	熱貫流率	日射熱取得率	★デフォルト値: 熱貫流率	日射熱取得率
窓ガラス	北	デフォルト値	5.95	0.876	5.95W/(m ² K)	0.876
	北東	デフォルト値	5.95	0.876		
	東	デフォルト値	5.95	0.876		
	南東	デフォルト値	5.95	0.876		
	南	デフォルト値	5.95	0.876		
	南西	デフォルト値	5.95	0.876		
	西	デフォルト値	5.95	0.876		
	北西	デフォルト値	5.95	0.876		